

RESAS

を分析してみよう

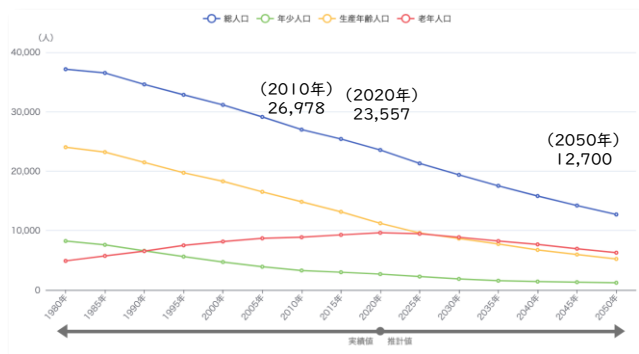
熊本県
水俣市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

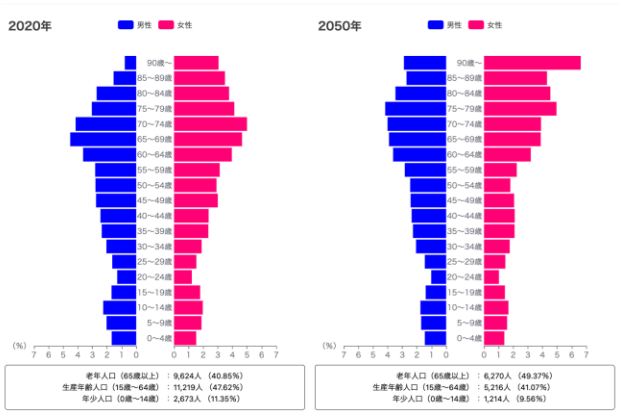
RESAS



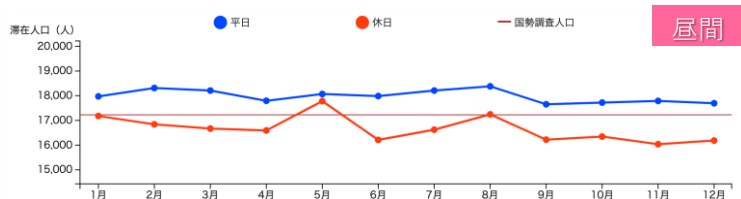
*人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

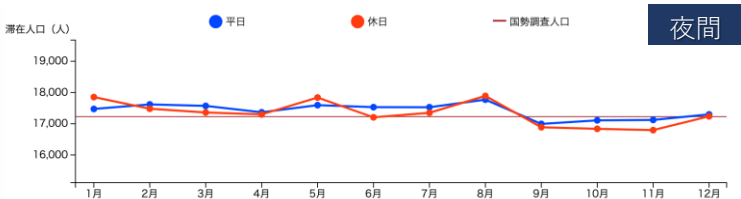
現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の40.85%から2050年には49.37%まで増加している。また、生産年齢人口は2020年の47.62%から41.07%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



昼間



夜間

*まちづくりマップ→滞在人口率

滞在人口

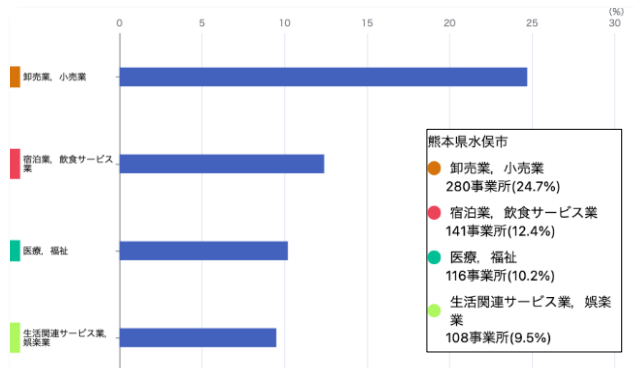
(2022年、上：昼間、下：夜間)

昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。平日と休日の昼間を比べると、休日の滞在人口が平日の滞在人口より下回っていることから、休日は他の市町村への流出人口が流入人口に多いことがわかる。

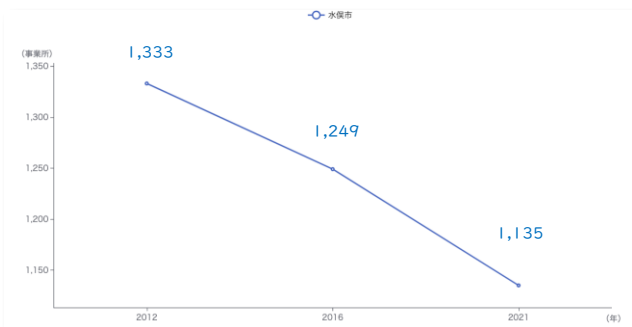
※昼間は14時、夜間は20時のデータ

産業構造

事業所数(事業所単位):1,135事業所



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



*産業構造マップ→全産業→事業所数

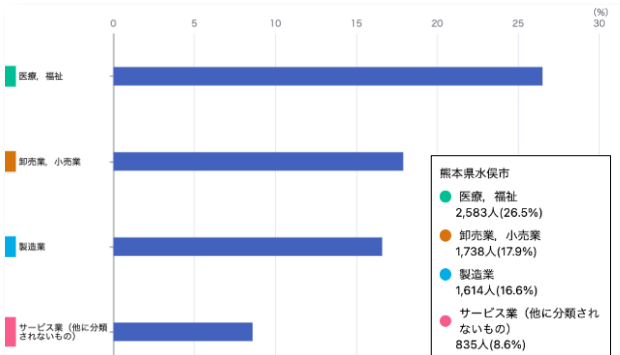
事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の280事業所で、全体の24.7%を占めている。その後「宿泊業、飲食サービス業」の141事業所12.4%が続く。

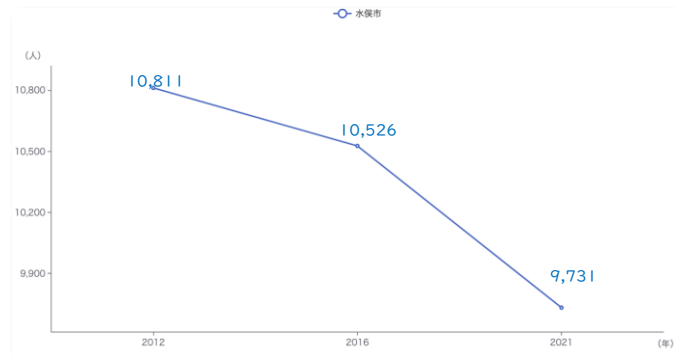
事業所数の推移 (2021年)

事業所数の推移をみる。2021年は1,135事業所であり、5年前の2016年は1,249事業所だったので、比較すると9.1%減少している。

従業者数(事業所単位):9,731人



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



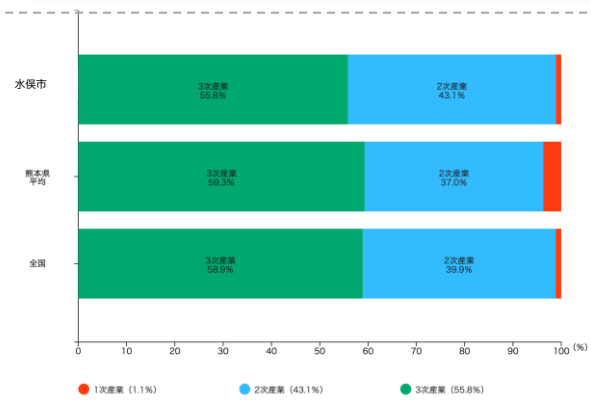
*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

従業者数 (2021年)

業種ごとの従業者数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「医療、福祉」の2,583人で、全体26.5%を占めている。その後「卸売業、小売業」の1,738人の17.9%が続く。

従業者数の推移 (2021年)

従業者数の推移をみる。2021年は9,731人、5年前の2016年は10,526人だったので、比較すると7.6%減少している。



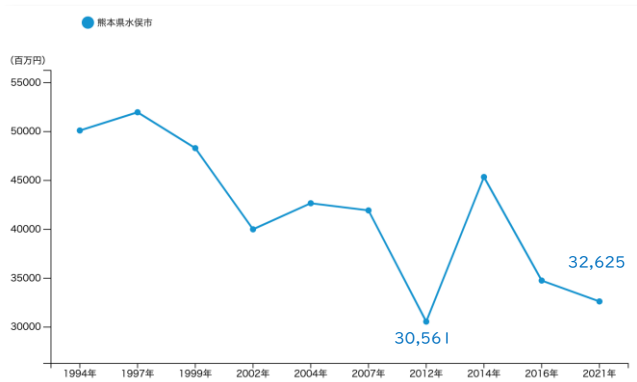
*地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

水俣市の産業の構成割合を全国および熊本県と比較したグラフである。2次産業の割合が43.1%であり、全国の39.9%と比べて高い。一方、3次産業の割合は、55.8%と全国の58.9%に比べて低い。

*1次産業・・・農業、林業、漁業など
*2次産業・・・製造業、建設業、工業など
*3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業

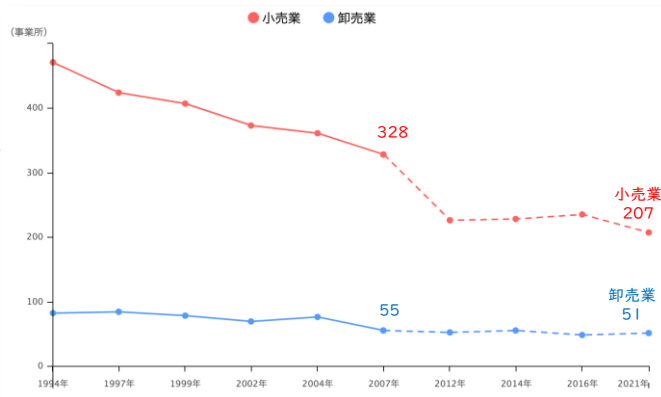


※産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

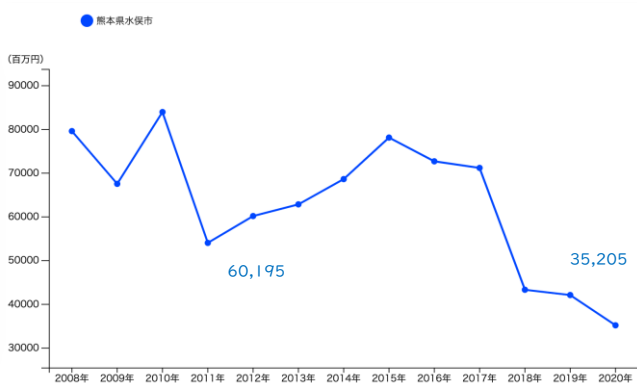
小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業207事業所、卸売業51事業所である。2007年と比較すると、小売業は36.9%減、卸売業は7.3%減となっている。

※グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。



※産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

製造業



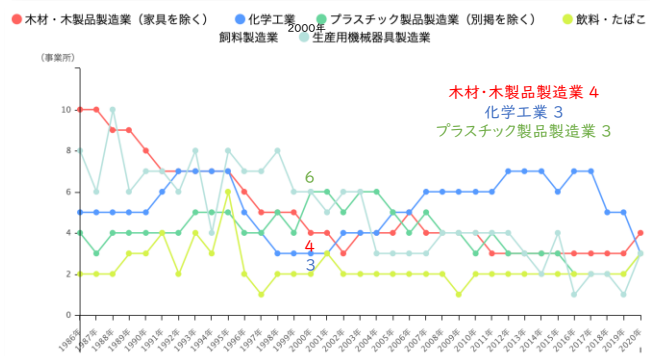
※産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

事業所数(主要製造業)の推移 (2020年)

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。2020年は①木材・木製品製造業、②化学工業③プラスチック製品製造業が多い。2000年と比較し、①、②は横ばい、③は減少傾向にある。

製造品出荷額等の推移 (2020年)

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。2020年製造品出荷額等は、35,205百万円である。8年前の2012年と比較すると60,195百万円なので、41.5%減である。



※産業構造マップ→製造業→製造業の構造

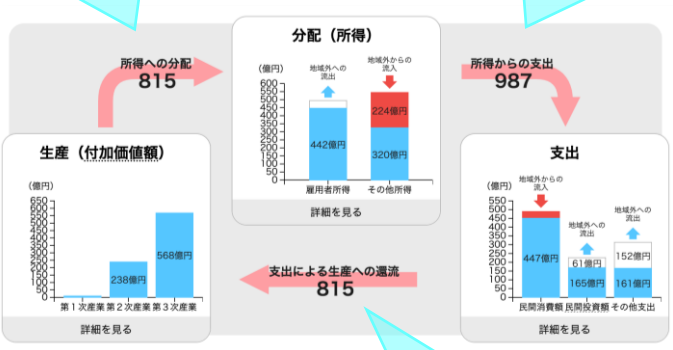
地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

①水俣市の企業は合計815億円の付加価値を生み出している。

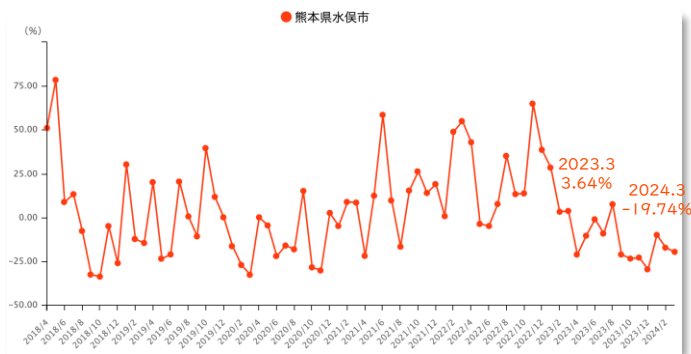
②付加価値のうち、支出に回されるのは、987億円。



*地域経済循環マップ→地域経済循環図

③市内で支出に使われた金額は815億円。市外への流出があるため987億円より少ない。

雇用 (熊本県)



*産業構造マップ→雇用→求人情報の比較

求人情報数の推移 (前年同月比)

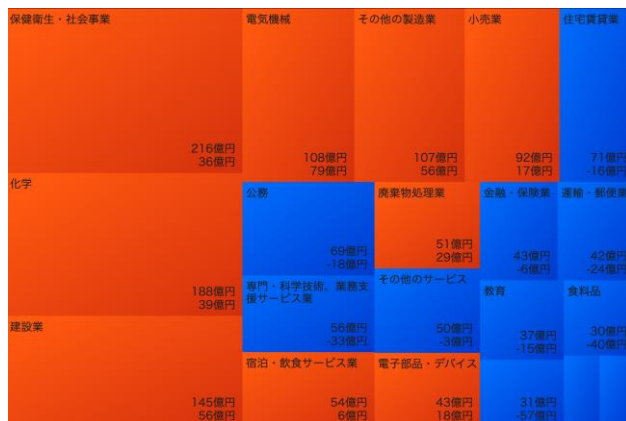
水俣市の求人情報数の推移（事業所単位：前年同月比）を示したグラフをみる。2024年3月は、-19.74%と求人情報数が減少し、1年前の2023年3月も3.64%減である。直近の1年では、求人情報の前年同月比がマイナスの月が多い。

生産分析 (2018年)

左図の「生産（付加価値額）」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が高いのは「保健衛生・社会事業」、「化学」、「建設業」である。

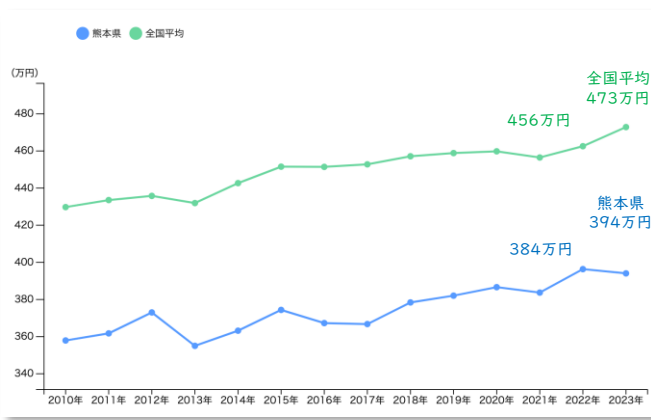
なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業（赤色）と地域外から必要としているものを調達している産業（青色）を表している。

総額：1,518億円



*地域経済循環マップ→生産分析

上図以外の付加価値額の合算：57億円



*産業構造マップ→全産業→一人当たり賃金

一人当たり賃金 (2023年)

熊本県の一人当たりの賃金を全国平均と比較したグラフである。2023年の熊本県は394万円であり、全国平均の473万円と比べて低い。2021年の熊本県は384万円、全国平均は456万円であり、ともに上がっている。一人当たり賃金の全国順位は38位である。

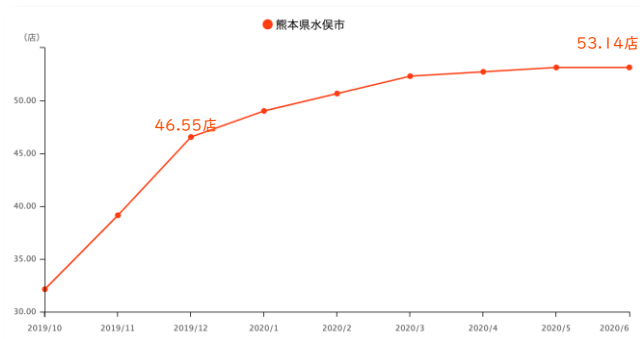
キャッシュレス

人口1万人当たり加盟店数の推移

(2019年10月～2020年6月)

人口1万人当たりのキャッシュレス決済加盟店数の推移を示したグラフである。

2020年6月の店舗数は53.14店舗である。半年前の2019年12月と比較すると46.55店舗なので、14.2%増である。



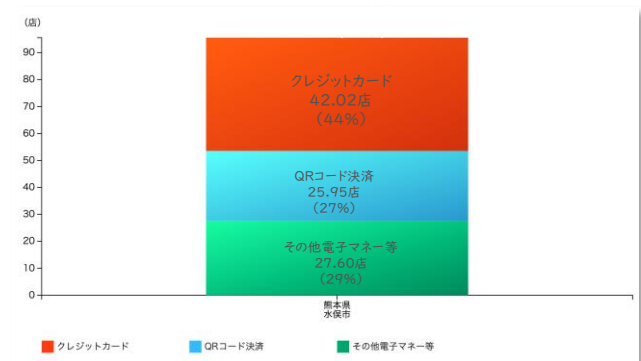
*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

キャッシュレス手段別区分

(2020年6月)

(人口1万人当たり加盟店数の)キャッシュレス手段別区分を積み上げたグラフである。

「クレジットカード」が42.02店と最も多く44%、続いて「QRコード決済」が25.95店27%、「その他電子マネー等」は27.60店29%となっている。



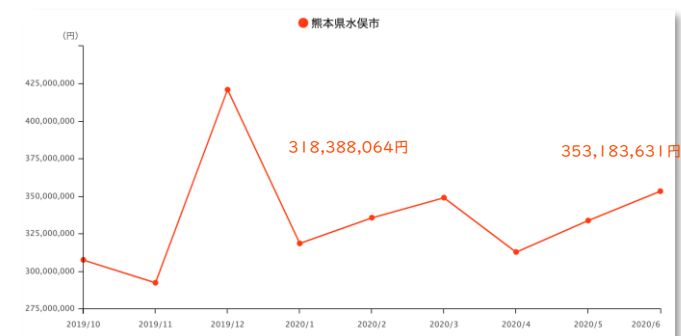
*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

決済金額の推移

(2019年10月～2020年6月)

キャッシュレス決済金額の推移を示したグラフである。

2020年6月の決済金額は353,183,631円である。同年1月と比較すると318,388,064円なので、10.9%増である。



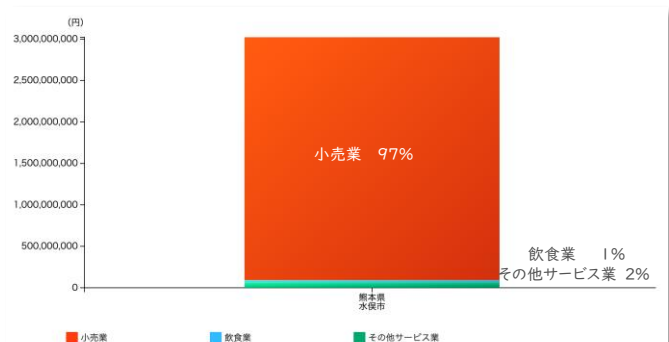
*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)

業種大分類別区分

(2019年10月～2020年6月)

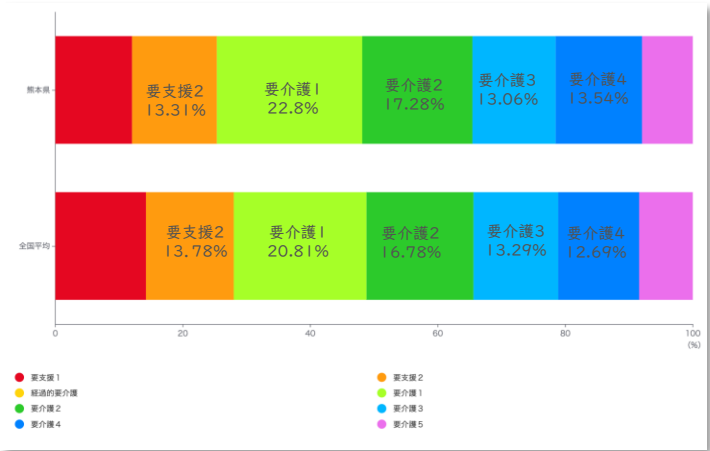
決済金額を業種大分類別区分に積み上げたグラフである。

「小売業」が97%と最も多く、続いて「飲食業」が1%、「その他サービス」は2%となっている。



*消費マップ→キャッシュレス決済データ(ポイント還元事業)

医療・福祉（熊本県）



＊医療・福祉マップ→介護需給

＊65歳以上人口10万人あたり

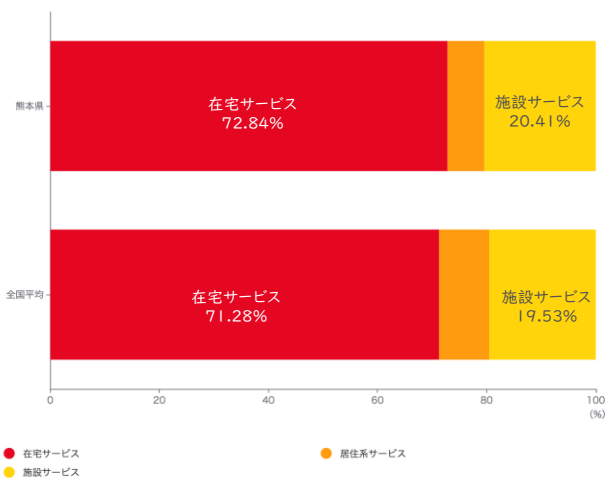
施設・居住系・在宅サービス受給者数の構成（2022年）

熊本県の施設・居住系・在宅サービス受給者の構成割合を全国平均と比較したグラフである。
在宅サービスの割合が72.84%であり、全国の71.28%よりやや高い。また、施設サービスの割合も、20.41%と全国の19.53%に比べてやや高い。

＊65歳以上人口10万人あたり

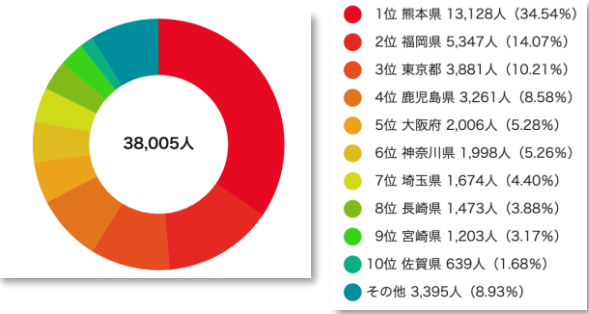
要介護（要支援）認定者数の構成（2021年）

熊本県の要介護（要支援）認定者数を種類別で示したグラフである。
熊本県でもっとも多いのは「要介護1」の22.8%で、全国平均の20.81%よりも高い。
その後「要介護2」の17.28%、「要介護4」の13.54%が続く。

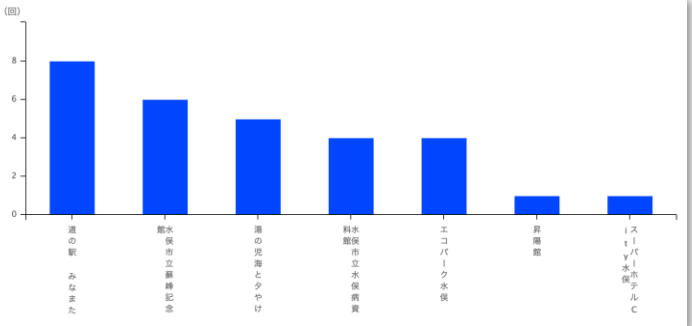


＊医療・福祉マップ→介護需要

観光



＊観光マップ→From-to分析（宿泊者）



＊観光マップ→目的地分析

From-to分析（宿泊者）（2022年）

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。熊本県が34.54%ともっとも多く、福岡県14.07%、東京都10.21%が続く。

目的地検索ランキング（2023年3月 休日）

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「道の駅 みなまた」「水俣市立蘇峰記念館」「湯の児 海と夕やけ」の検索回数が多い。

発行：水俣商工会議所 〒867-0042 熊本県水俣市大園町1-11-5
TEL: 0966-63-2128 FAX: 0966-63-6474
URL: <http://www.minamata-cci.or.jp/>

